

第2学年道徳学習指導案

男子4人 女子3人 計7人
指導者 南 昌 成

1 主題名

困っている人のために 2-(2)思いやり・親切
資料「学校の帰り道」 東京書籍

2 主題の価値

この期の子供たちは、弱い人や不幸な人、困っている人に親切にしなければならないことは分かっている。また、相手のことを思いやる心情の芽生えが見られ、他人のために役立ちたいという気持ちも持っている。しかし、実際にそうした場面に出会った場合恥ずかしいといった気持ちなどから親切な行為ができる子供は少ない。友達の間では進んで助けたり、相談にのってあげたり、励ましたりすることも素直にできることもあるが、見知らぬ人である場合は恥ずかしさも手伝って、なかなか思いやりのある親切な行いができない。また、多くの人が見ている場合ではなおさら、いいことでも進んでできないことが多い。

本主題の指導内容「思いやり・親切」とは、相手の立場に立ち、相手の身になって考え、行動することである。相手が何を求めているかを的確に見極めて、どのようにするのが一番よいかを判断し、手を差し伸べることである。それは自分の身近な人々（家族や親戚、友達など）だけにむけられるものではない。相手が見ず知らずの人であった場合でも、その人が困っていれば、手を貸してあげようとする気持ちを持つことは大切である。さらにその気持ちを実行するには、強い意思と勇気が必要である。そういう強い意思と勇気をもってこそ、思いやりのある行動や親切な行為ができると言える。相手のことを思い、行動することで、相手にその思いが通じる。それがまた、自分の喜びともなる。その相互の関係が、さらに相手を思いやろうとする心を育み、親切にしようとする意欲を持たせ、行動を起こさせると考える。

そこで、資料「学校の帰り道」を取り上げることにした。本資料は主人公「わたし」が学校の帰り道、道を尋ねたおばさんに道案内すると同時に、重い荷物を持ってあげようか悩んだ末に持ってあげるという内容である。「持ってあげましょうか」となかなか言えない主人公「わたし」の心の迷いと恥ずかしさを乗り越えて、勇気を出して決断した考えや気持ちについて子供一人一人に考えさせたい。

このような学習を通して、弱い人や困っている人の身になって進んで手を差し伸べることの大切さに気付かせたい。そして人に親切にすることはとても難しいことであるが、親切にすることの素晴らしさに気付かせ、勇気を持って進んで実践していこうという気持ちを持たせることができると考える。

3 児童の実態

思いやり・親切に関して、本学級の児童の実態は次のようである。 回答者数 7人

《よりよい生き方ができた経験とその理由》	
1 ① 困っている人のために、助けてあげたり、親切にしてあげたりしたことはありますか。	
<ul style="list-style-type: none">・ばあちゃん的眼鏡をさがしてあげた。・皿洗いのお手伝いをしてあげた。・友達に色鉛筆やハサミをかしてあげた。・ふるさとさんぽで温かいお茶を飲ませてあげた。	・無回答3人
② その時、どうして、助けてあげたり、親切にしてあげたりすることができたのですか。	
<ul style="list-style-type: none">・困っていたから。・いつもたいへんそうだから。・だれもかしてあげないから、かしてあげた。・お茶が冷たそうだったから。	・無回答3人
《心の弱さの経験とその理由》	
2 ① 困っている人のために助けてあげたり、親切にしてあげようと思ったりしたけど、できなかったことはありますか。	
<ul style="list-style-type: none">・お手伝いをしてあげたかったけど、できなかった。・米すりに行こうとしたけど、行かなかった。	・無回答5人
② その時、どうして、助けたり、親切にしたりしてあげられなかったのですか。	
<ul style="list-style-type: none">・ちょっとはずかしかったから。・ゲームをしていたから。	・無回答5人
《思いやり・親切の意義》	
3 困っている人のために助けてあげたり、親切にしてあげることは、どうして大切だと思いますか。	
<ul style="list-style-type: none">・困っている人を助けようとする気持ち。・困っている人が目の前にいるのに、助けなかったらもっと困るから。・助けてあげたり、親切にしてあげることは、いい気持ちになるから。・困っている人とかいるから親切にする。・かわいそうだから。	・無回答2人

《相手を思いやり親切にするための心構え》

4 困っている人のために助けてあげたり、親切にしてあげるためには、どんな気持ちや考えをもつことが大切だと思いますか。

- ・みんながいじめているときに助けてあげようとする気持ち。
- ・困った人を助けようという気持ち。
- ・やさしい気持ち。
- ・親切な子どもになるという気持ち。
- ・心のやさしい気持ち。

・無回答2人

本学級の子供たちには、友達が教科書や筆記用具などを忘れた時貸してあげたり、泣いている子供がいたら、やさしく声をかけてあげたりする姿が日常の生活ではよく見られる。そうした思いやりのある親切な行為はよく目にするが、アンケートの1の①の質問から分かるように親切な行為ができた経験は自分と仲のよい友達や家族に対して行っている場合が多い。また、アンケート2の①から、助けてあげられなかった経験や親切にできなかった経験は家の手伝いに関することをあげている。

また、1の②から親切にできた理由は、たいへんそうだからとか、とても困っていたからといったように自分がしてあげなかったら、相手が困るからと相手のことを考えて親切な行為ができたことが分かる。反対に親切な行為ができなかった理由としては2の②から、恥ずかしいから、ゲームをしたからという理由でできなかったことが分かる。日常の生活でも恥ずかしくてできないことがよくあるように思われる。どうして恥ずかしいのか具体的に詳しく考えてみる必要がある。

人に親切にする意義としては、アンケート3から分かるように、困っている人を助けようとする気持ちとか、助けなかったらもっと困るからといったように困っている相手のことを考えている。親切にすることで自分がどうなるということではなく、自分のことより他人との関わりで親切にする意義をとらえている。

親切な行為ができるようになるための心構えとしては、アンケート4から分かるように、相手を助けてあげようとする気持ちとか、やさしい気持ち、ということあげている。相手を思いやるやさしい心が必要であるととらえている。

以上のことから、親切な行為をするには、相手のことを思って、恥ずかしがらず勇気を持ってすることが大切であると気付いている子供がいることがわかる。しかし、実際の生活場面では、仲の良い友達にはできても、あまり親しくない友達や知らない人などに対しては、自分から進んで親切にできないでいる子供の姿がみられる。そこで、親切な行為は、思いやりの心を基盤としてなされるものであり、その根底には相手のことを常に自分のこととして受け止められる気持ちが必要であること、恥ずかしいけれども相手のことを考えて勇気を出して親切な行為をしようとする気持ちが必要であることを授業を通して気付かせていくことが大切である。

4 資料について

- ① 本資料「学校の帰り道」は、主人公の「わたし」が道に迷っているおばあさんを道案内しながら、おばあさんの持っている荷物の重さに気づき、声をかけて持ってあげるべきか迷ったあ

げく、勇気を出して実行に移す。そして、おばあさんから感謝され、お母さんからもほめられ、自分の気持ちもすっきりしたという話である。どうしようか迷ったあげく、勇気を出して実行に移すことの大切さと、他人に親切にするためには、相手の立場に立って行動することの大切さと、他人に親切にするためには、相手の立場に立って行動することの大切さを考えさせるのに適した資料である。

② 資料の分析

《あらすじ》	《わたしの心情》	《含まれる価値》
校門の近くで荷物をたくさん抱えたおばあさんがきょろきょろしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・どうしたのかな。 ・道を捜してるのかな。 ・力になりたいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり・親切
農協を教えるために一緒に歩いてあげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・わたしの家の近くだから教えてあげよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり・親切 ・勇気
おばあさんの重そうな荷物に気付くが、「荷物を持ってあげましょう」となかなか口に出して言えないわたし。	<ul style="list-style-type: none"> ・とても重そうだな。 ・持ってあげようかな。 ・言いたいけど、恥ずかしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり・親切 ・勇気
勇気を出して「荷物を持ちましょう。」と言えたわたし。	<ul style="list-style-type: none"> ・かごもせおってるから、とても重そうだな。 ・恥ずかしいけど、勇気を出して言おう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり・親切 ・勇気
おばあさんに何度もお礼を言われたわたし。	<ul style="list-style-type: none"> ・おばあさん本当にうれしそうだな。 ・持ってあげてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり・親切
お母さんに「あいちゃんの心百点」とほめられたわたし。	<ul style="list-style-type: none"> ・親切にしてよかった。 ・ほめられてうれしいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり・親切

5 ねらい

- ・ 困っている人の立場や心情を理解し、思いやりの心をもって接し、進んで親切にしようとする心情を育てる。

6 指導にあたって

気付く段階では、実態調査や発表をもとに、困っている人に親切にできた経験と親切にできなかった経験を思い出させ、親切にできる時とできない時がある現実を目を向けさせ、少しでも望ましい生き方ができるにはどうしたらよいかという問題意識を持たせ、学習への意欲付けを図りたい。また、ふるさと学習の時の写真を提示し問題意識を持たせるとともに意欲付けも図りたい。

つかむ・高める段階では、資料を読んだ後、みんなで考えてみたいところを発表させ、主人公の心の葛藤場面（荷物を持ってあげようか迷う場面）に話し合いを焦点化させ、主人公「わたし」の心の弱さ（恥ずかしい、言い出せないなど）について考えさせたい。次に勇気を出して持ってあげることができた「わたし」の心の中を、心の背景をワークシートを使って一人一人に十分考えさせたり、役割演技をさせたりして、よりよい生き方を目指す意義や心構えについて考えを深めさせたい。また、心情図を用いて「わたし」のおばあさんを思う気持ちが、弱い心より優れたから勇気を出して荷物を持つことができたことを確かめたい。そして、そうした親切な行為をするには、相手（おばあさん）に対する思いやりの心が大切であることに気付かせたい。

見つめる段階では、実態調査（アンケート）などをもとに改めて、これまでの自分自身を振り返り、「思いやり・親切」で自分自身に足りなかった見方や考え、これから大切にしていきたい考えや気持ちについて考えさせたい。

あたためる段階では、説話を聞かせるとともに、11月に下旬に予定しているふるさと学習「秋祭り」や12月学校行事「持久走大会」について児童に知らせ、思いやりの気持ちを持って全校の子供やクラスのみみんなと仲よく楽しく活動しようという実践への意欲を高めたい。

7 実際

難	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	嚙	指導の意図	指導上の留意点
気 付 く	1 困っている人に親切にしてあげた経験やしてあげられなかった経験について話し合う。 困っている人に親切にしてあげたことや逆にしてあげられなかったことはありませんか。	・席をゆずってあげた。 ・忘れ物をかしてあげた。 ・ケガをした人を保健室に連れて行った。 ・席をゆずらなかった。 ・泣いている子供に声をかけなかった。	5	個々の問題を 出し合う	・アンケート表提示 ・ふるさと学習「ふるさとさんぽ」の時の写真を掲示
	2 学習問題を確認する。 こまっている人にしんせつにするにはどんな気もちや考えをもつことがたいせつでしょう。			共通の問題 意識に高める	・学習問題を提示
	3 資料を読み、よりよい生き方について考える。 (1) 主人公の言動や心情について感想をもつ。	・「持ちましょう」と言えないで迷っている場面 ・勇気を出して言えた場面		焦点化する	・話し合う場면을焦点化すると同時に粗筋を確かめる。

<p>つかかむ・高めめる</p>	<p>私の気持ちについてみんなと話し合いたいところ(心のこたところ)はどこですか。</p> <p>(2) 一緒に歩きながら、「荷物を持ってあげましょう」となかなか言い出せない私の気持ちについて話し合う。</p> <p>道を教えてあげられるほど親切な私なのに、どうして「荷物を持ちましょう」と言えなかったのでしょうか。</p> <p>(3) 荷物を持ってあげた後の私の気持ちについて話し合う。</p> <p>おばあさんから感謝され、お母さんからほめられた時どんな気持ちだったでしょう。</p> <p>(4) 勇気を出して「荷物を持ちましょう」と言った時の私の気持ちについて話し合う</p> <p>あんなに迷っていた私なのに、どうして「荷物を持ちましょう。」と言えたのでしょうか。私がどんな気持ちや考えを大切にしたらからでしょう。</p>	<p>・おばあさんから感謝された場面</p> <p>・お母さんからほめられた場面</p> <p>・知らない人だから。</p> <p>・恥ずかしいな。</p> <p>・言い出すきっかけがないなあ。</p> <p>・断られるかもしれない</p> <p>・勇気がない。</p> <p>・親切にしてあげてよかった。</p> <p>・おばあさんがとても喜んでくれてよかった。</p> <p>・お母さんにほめられてうれしかった。</p> <p>・困っているのに黙っているわけにはいかないな。</p> <p>・自分も親切にされたらうれしいから</p> <p>・おばあさんが助かるし喜んでくれるぞ。</p> <p>・おばあさんが大変だからやっぱり持ってあげよう</p> <p>・他のみんなも親切になったら素晴らしいな。</p>	<p>32</p> <p>二面性を追究する</p> <p>心の弱さを追究する</p> <p>感動場面を追究する</p> <p>よりよい生き方を追究する</p> <p>・自分との関わり</p> <p>・他人との関わり</p> <p>・集団社会との関わり</p>	<p>・場面の絵を貼付</p> <p>・主人公の心の迷い心の弱さに気づかせ自分自身の心の葛藤として共感的にとらえさせる。</p> <p>・道案内を快く引き受けたが、荷物を持ちましょうと言えない私をおさえる。</p> <p>・よりよい生き方をした時の素晴らしさや感動に浸らせる。</p> <p>・迷っていた時の気持ちをおさえてから発問する。</p> <p>★ワークシート ★健織</p> <p>・おばあさんに対する思いやりの心が恥ずかしいからといった心の弱さより、勝ったために、親切な行為ができたことを押さえる。⇒心情図</p>
<p>見つけめる</p>	<p>4 これまでの自分を振り返る。</p> <p>「親切」についてこれまでの自分を振り返り、こんなところはよかった、もっとこうすればよかったと思うことはありませんか。</p>	<p>・少しぐらい恥ずかしくても勇気を出して親切にしてあげたい。</p> <p>・自分も親切にしてもらったらうれしいから他の人にも親切にしよう。</p> <p>・恥ずかしいという気持ちで親切にできないことがあったけど、今度から進んでやってみたい。</p>	<p>5</p> <p>自己を振り返る</p>	<p>・これまでの自分を振り返らせ、足りなかった考えや気持ちやこれから大切にしたい考えや気持ちについて考えさせる。</p>
<p>あたためる</p>	<p>5 教師の説話を聞く。</p> <p>6 秋祭りや持久走大会について知る。</p>	<p>・みんなと仲良く協力して秋祭りの準備や持久走大会の練習をしたいな。</p>	<p>3</p> <p>実践意欲を高める</p>	<p>・読み物資料、日記</p> <p>・学級集会やお楽しみ会について知らせ意欲をもたせる。</p>